

人と人をつなぐカフェ



結カフェ



YUI-CAFE

ゆい 結カフェって？

認知症の人やその家族が気軽に悩みを分かち合い
支え合い 助け合い 生き生きと毎日を過ごしたい
そんな思いから立ち上がったカフェです・・・

認知症の方、介護に悩む方、地域の方、専門職の方、
そうでない人もどなたでも参加できます。

足を運んでいただければきっとだれかにつながる
交流の場所です。

おいしいお茶を飲みながら、誰かとおしゃべりがしたい方
ゆったりと過ごしたい方

気軽にご参加お待ちしております。

※専門職による個別相談も対応できます。

◆結カフェについての お問い合わせ◆

新城市役所・高齢者支援課 0536-23-7688
新城市地域包括支援センター 0536-23-6810

新城市の 結カフェ 紹介



『陽だまり』 素敵な空間とおいしい飲み物に癒されます

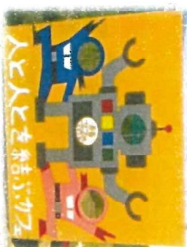
申込み不要
駐車場有り

◎開催：毎月 第3 木曜日 10：00～15：30
(専門職相談時間 13:00～15:00)

◎場所：新城市中宇利字曾根川北17

◎TEL:0536-26-0917
(営業時間のみ対応)

※ドリンク 200 円 (米粉スイーツ付)



『W o m a n』

カーン

お洒落な空間に包まれて楽しく過ごせる憩いの場

申込み不要
駐車場有り

◎開催：毎月 第2 水曜日 13：30～15：30
◎場所：新城市富沢1-2-3

◎TEL:090-1561-9203 (営業時間のみ対応)

※ドリンクケーキ付 370 円～

★もっくる車移動販売有り(不定期)



古民家空間に包まれて 素敵な雰囲気味わえる

『やどり喜』

申込み不要
駐車場有り

◎開催：毎月 第4 金曜日 13：00～15：30

◎場所：新城市名号字丹野 108-2

◎TEL:090-7431-5350 (営業時間のみ対応)

※参加費 300 円 (フリードリンク付)

※手作り弁当・カヌレ・お寿司販売有り



レクリエーションしながら楽しい時間を過ごせる

『あののん喫茶』

※要申込み
駐車場有り

◆申し込みは、1週間前までに 0536-24-9077

グループホームサマリヤの家・熊谷まで

◎場所：新城市矢部字上ノ川1-6 シルバー人材センター内

◎開催：毎月 第4 水曜日 14：00～15：30 (受付 13:30 開始)

◎TEL:0536-24-9077 (グループホームサマリヤの家)

※参加費(ドリンク手作りお菓子付) 200 円



※ドリンク 200 円 (季節のケーキ 200 円～)
※パン・クッキー・雑貨・野菜などの販売有

『カフェ・味塩川』

みきやわ

どこか懐かしい雰囲気ゆったり過ごせる

申込み不要

駐車場有り

★もっくる車移動販売有り(14時頃)

◎開催：毎月 第1 火曜日 13：30～15：30

◎場所：新城市庭野字川大田2-10 (庭野小学校隣)

◎TEL:0536-23-6066 (営業時間のみ対応)



◎開催：毎月 第3 月曜日 13：30～15：30

◎場所：新城市豊岡字田ノ嶋 52-9 (翠華の里 敷地内)

◎TEL:0536-32-2530 (営業時間のみ対応)

※ドリンク 550 円～

『サーブアいらんど』

申込み不要
駐車場有り

かわいいワンちゃんがお待ちです 歌を楽しむ



レクリエーションや体操、お茶タイムを楽しく笑顔で過ごせる♪

『やなマルシェ』 申込み不要 駐車場有り

◎開催：毎月 第1, 2, 3 水曜日

13:30~15:30

◎場所：新城市黒田荻平野 37-2

◎TEL:090-7687-3512

※参加費 100円 (フンドリング付)
(イベント時は別途材料費がかかります)



簡単なハンドメイド体験が楽しめるカフェ♪ 申込み不要 駐車場有り

『1122(いちいちにいにい)』

◎開催：毎月 第2 火曜日 10:00~16:00

(専門職相談時間 14:00~15:30)

◎場所：新城市富栄字矢田 7-24

◎TEL:0536-32-2437

※参加費 500円 (軽食・ドリンク付、ハンドメイド体験材料費込)



レクリエーションと季節の手作りお菓子が楽しめる♪

『つくしんぼうカフェ』 申込み不要 駐車場有り

◎開催：毎月 第4 火曜日 13:30~15:30

◎場所：JA 愛知東 介護支援センター
新城市長篠字日焼7-1

◎TEL:0536-32-9414

※参加費 200円 (コーヒー・手作りおやつ付)

※近隣のみ送迎あり要相談



おしぼりワークでポイントを集めよう♪ カフェもゆくり憩いの場に♪

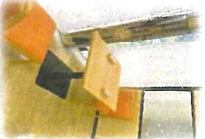
『結カフェ・ばんき館』 申込み不要 駐車場有り

◎開催：毎月 第3 金曜日 13:00~15:30

◎場所：新城市字南畑74

◎TEL:0536-22-0166

※参加費 300円 (飲み物、おやつ付)



★お店のカラーの

コースターでお迎えます!



★結カフェと一緒に

ボランティアしませんか?

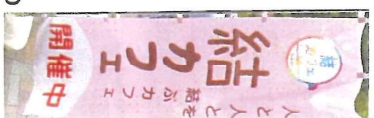
詳しくは、お問合せください



◆お問い合わせ先◆

新城市役所・高齢者支援課 0536-23-7688

新城市地域包括支援センター 0536-23-6810



みんなが集まる憩いの空間♪催し物が満載です♪

『里ちゃん家』 申込み不要 駐車場有り

★もつくる車移動販売有り(11時頃)

◎開催：毎月 第2 月曜日 11:30~14:30

◎場所：新城市長篠字矢貝津 3番地の12 (長篠城大駐車場前)

◎TEL:090-1412-4232

※参加費 300円 (飲み物、おやつ代)



令和の井戸端 互いを見守り 異変キヤッチ

J A愛知東女性部、住民集う「認知症カフェ」

国の認知症対策方針「認知症施策推進大綱」が今年、中間年を迎えた。1人暮らしの高齢世帯が増える中、愛知県のJ A愛知東女性部は2021年より、大綱の中で全市区町村に設置する目標が掲げられた認知症の



地域の人が気軽に集まれる「結カフェ」
(愛知県新城市で)

▼13面に関連記事

ら、カフェの名に「認知症」は付いていない。認知症の人や家族が気軽に悩みを分かち合うだけでなく、1人暮らしの高齢者が日々の出来事を語り合う、何気ない会話から互いの理解を深め、何があっても誰かが気付き、手を差し伸べてくれる安心感を抱いてもらう。看護師や認知症地域支援推進員もいて、様子を見守る。認知症が悪化するまで気付かないケースを防ぐため、健康相談にも応じて、体操やフラダンスなどレクリエーションもある。参加した山本

11月30日、新城市で女性部が開く「結(ゆい)カフェ」に70歳以上の16人が訪れた。新型コロナウイルス感染症拡大防止のマスク着用や換気をしながら、お茶と菓子、会話を楽しむ。部長の加藤久美子さん(59)が「認知症の人、そうじゃない人、地域の誰もが集える場所。『あの人ちょっと最近おかしくないかねえ』という気付きが、認知症など異変の察知につながる」と言う。誰にも扉を開いているとのメッセージかなどレクリエーション

威津代さん(82)は「1人暮らしだから、認知症になっても自分では認識できない。でも、カフェに来れば気遣い合える」と笑う。女性部が目指したのは、地域の人たちが年齢や立場を超えて気軽にしゃべりできる井戸端会議の現代版だ。大家族も多かった農村部のある地域だが、今では核家族化と高齢者の単独世帯が増えていく。加藤さんが言った。「カフェを通じて人と人との結を取り戻し、お互いさまの気持ちを広げたい。話をすることで、みんなが互いを見守る地域にしたい」

一世帯当たり25万円を生ずる。仮に全世帯米だけを選んだ場合単純計算すると最も4万円超に及ぶ。1日に都が議会で提示した12月補正予算案206億円を盛り込

え、都生活福祉部は「あくまで低所得者支援が狙いだが、農業振興の側面もある」とする。高騰する輸入小麦の代替に米粉を使ったパンの普及事業を展開するなど、都は消費税

に続き6カ国・地域目となる。加入交渉入りには全発効済み国の同意が必要だが、認められた場合、日本はウルグアイと初の通商交渉に臨むことになる。同国は世界有数の牛肉の

うニュージールランド政府に申請書類を提出した。実際に加入に向けた手続きを始めるためには、参加11カ国による閣僚級会合「TPP委員会」で発効済み国の

本は現状、ウルグアイとの間に締結済みの経済連携協定(EPA)がない。同国産の牛肉の輸入量は2021年に5272トンで、同国からの物品輸入の8割を占め

J A愛知東（本店新城市）は、高齢者支援組織「地域ささえ愛」を発足させた。管内の奥三河4市町村（新城市、設楽町、東栄町、豊根村）で、65歳以上の一人暮らしの人や夫婦のみの世帯の希望者に対し、弁当の宅配や家事支援サービスを展開する。（山谷 証裕）

高齢者の暮らし 私たちがお助け

弁当宅配や家事 在宅サービス



弁当を受け取る利用者◎＝新城市富栄で

宅配する弁当は地元食材
を利用し一食五百円。新

城、鳳来、作手、北設楽の四拠点から配達し、安否確認を兼ねて手渡しする。家事支援サービスは掃除や洗濯、調理、買い物、草刈り、日曜大工などに対応。料金はいずれも一時間当たり平日千二百円、土日祝日は千五百円、年末年

奥三河4市町村 J A愛知東が支援組織

始、お盆は千八百円。初回に登録料二千円がかかる。事業開始に先立って、J A愛知東の女性部メンバーが中心となって「高齢者支援サポーター」の養成講座を受講し、八十九人がそれぞれ得意分野で登録済み。三月中旬から利用者の募集を始めており、サポーターとマッチングを進めている。

十二日に本店で開かれた発足式で、女性部の加藤久美子部長は「私たちもいずれ助けが必要な年齢になる。住み慣れた地域の人が助けを求めることのできる環境づくりに努める」とあいさつし、参加したサポーターらとガンバロー三唱した。

同J Aでは以前、介護施設の建設を求める案もあったが、人材確保の難しさや地域で同様の施設が足りていない状況を受け、組合員がこれまで培った技能を基にした在宅サービスに方向転換した。